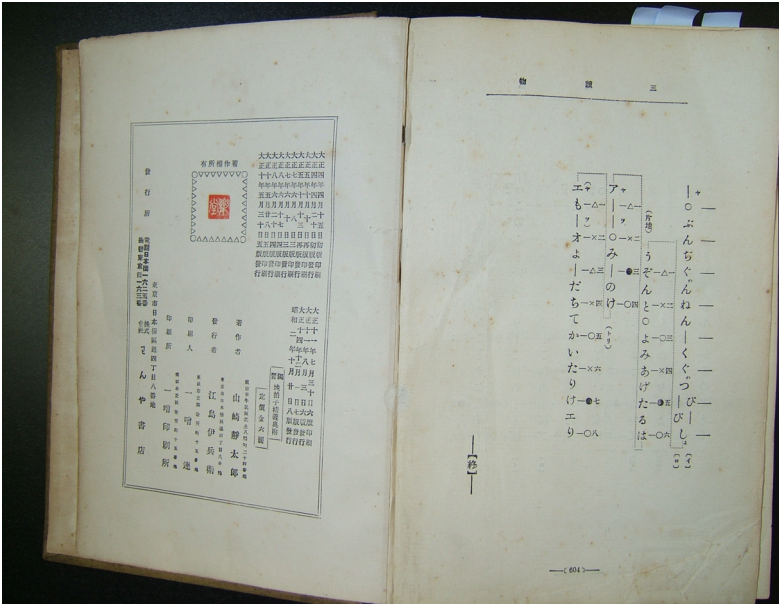
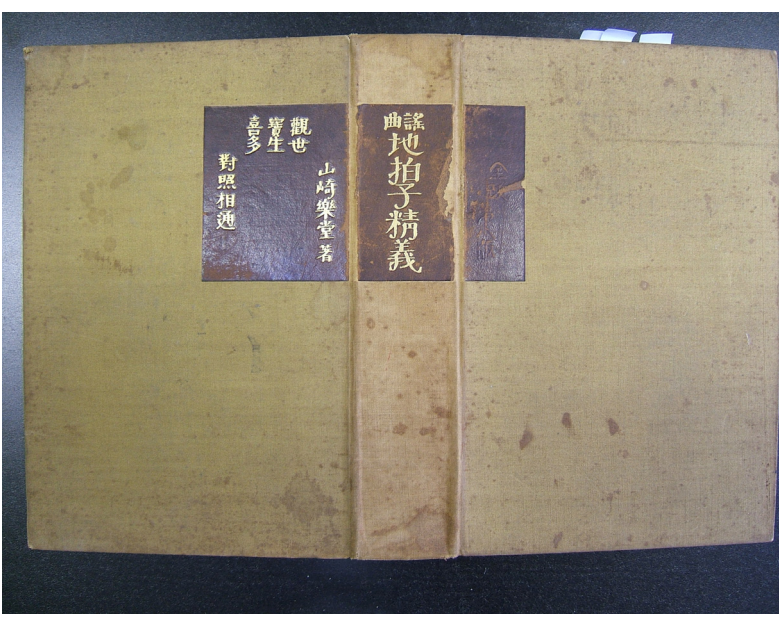


山崎楽堂 『独習用 謡曲 地拍子精義 (全改・第八版)』

震災で版が失われた本書は、大正十四年、第七版として復刊(復刻)された。その二年後、この第八版が誕生している。第八版序をみるかぎり、内容の改訂はおこなわれていない。第七版が品切れになったため、いそいで重版がなされたという事情だったのだろう。ちなみに本書は、再版で約二十頁、三版で約四十頁、四版で四十頁弱、五版で約三十頁の増補が、それぞれ行われ、だんだん分厚くなった本である。初版(36頁)と比べると八版は、一六〇頁も増えている。



標題 内題：独習用 謡曲 地拍子精義(全改・第八版)

改・第八版

標題紙：全改版『改訂増補第八版』観世・

宝生・喜多 対照相通 独習用

謡曲 地拍子精義

奥附：独習 地拍子精義

その他：観世・宝生・喜多 対照相通 謡

曲 地拍子精義 全改第八版(表

紙から背にかけて)

著者 奥附：山崎静太郎

その他の場所：工学士 山崎楽堂(標題

紙)、山崎楽堂(表紙)

出版 版次：第八版

出版地：東京

出版社：わんや書店

出版年：昭和2(1927)

その他の場所：八版の序 昭和2(1927)

形態 冊数：一冊 頁数：六〇四頁

寸法：22×15 (cm)

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 初版は大正四(一九一五)年。